

学校運営協議会を設置する学校の状況及び委員候補者の構成  
(現在の指定期間が平成25年4月1日～平成28年3月31日の8校)

| 区   | 学校名    | 現校長名  | 平成27年度<br>児童生徒数<br>(学級数) | 再指定<br>申請日 | 申請理由の要旨                                                                                                                                                                                                                 | 総数 | 委員候補者 |      |    |     |       |
|-----|--------|-------|--------------------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|------|----|-----|-------|
|     |        |       |                          |            |                                                                                                                                                                                                                         |    | 内訳    |      |    |     |       |
|     |        |       |                          |            |                                                                                                                                                                                                                         |    | 保護者   | 地域住民 | 校長 | 教職員 | 学識経験者 |
| 川崎区 | 川中島小学校 | 松下 友子 | 492名<br>(19級)            | H28.2.26   | 部会を4つに再編し、「新しい学校のあり方を地域と共に推進する」という理念のもと、各コミュニティ部会の取り組みを通して、学校・家庭・地域社会の創意が生かされ、共に歩む実感と喜びの持てる教育活動を着実に進めている。今後とも「参画・協働・共汗・共創」を合言葉に、地域が学校を支え、学校が地域に貢献するコミュニティをめざして取組を進めていきたい。                                               | 14 | 3     | 7    | 1  | 2   | 1     |
|     | 東小田小学校 | 吉田 勲  | 359名<br>(16級)            | H28.2.1    | コミュニティ・スクールの研究を続けることで、学校への関心が少しずつ高まり、学習支援・行事協力等に意欲的に参加してもらえるようになってきた。保護者・地域・学校の信頼関係は益々高まっていくと予想できるので、研究を継続しさらに連携を深めていきたい。また、設置より10年が経過し、保護者・地域・学校の結びつきが強くなってきており、学校運営協議会の良さをパイロット校として他校にも広めていきたい。                       | 16 | 2     | 7    | 1  | 5   | 1     |
| 幸区  | 南河原小学校 | 青木 由秋 | 394名<br>(17級)            | H28.2.26   | 手探りの状態から、少しずつだが着実に歩を進め、当初は学校がリードしていた活動も、現在では5部会からなる各コミュニティが活動の中心になってきた。地域と一体となった取組は、本校教育の充実・発展につながるだけでなく、地域の担い手として育つ子どもたちにより、地域がさらに優しく、活力ある町へと発展していく礎になると思う。地域とともに創る学校の推進には最適な環境になってきており、今後もコミュニティ・スクールとしての取組を継続していきたい。 | 16 | 2     | 10   | 1  | 1   | 2     |
| 中原区 | 上丸子小学校 | 岩間 章  | 733名<br>(27級)            | H28.2.19   | 5つのサポートチーム(ST)を中心に、地域の力を活用し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を行っている。平成28年度以降も同様の活動を推進していきたい。                                                                                                                                          | 16 | 3     | 9    | 1  | 3   | 0     |
| 高津区 | 東 橋中学校 | 山田 英児 | 983名<br>(30級)            | H28.2.24   | 保護者や地域の方々からも積極的な支援と協力を得て、落ち着いた雰囲気の中、学習や部活動で確実な成果を挙げている。学校運営協議会を中心に様々な活動を継続して行う中で、地域の方と生徒とのコミュニケーションが図られ、生徒は「地域の中学生」という意識が持てるようになってきた。これからも地域の方々の意見を参考に、子どもたちが輝く教育現場を作っていきたい。                                            | 16 | 4     | 10   | 1  | 0   | 1     |
| 宮前区 | 土 橋小学校 | 鈴木信一郎 | 963名<br>(34級)            | H28.2.26   | 開校以来、コミュニティ・スクールとして、地域、保護者、学校の協働により学校運営を行ってきた。引き続き保護者、地域住民等の学校運営への参画と協働による学校づくりを進めることにより、児童の豊かな学びとそだちの創造を図っていきたい。                                                                                                       | 14 | 4     | 6    | 1  | 2   | 1     |
| 多摩区 | 中野島中学校 | 樋口 安成 | 887名<br>(29級)            | H28.2.15   | 個々の生徒が充実した学校生活を送ることができる学校づくりに向け、学校運営協議会等で様々な建設的意見が提言され、具現化されている。今後も学校運営協議会を母体として、様々な取組の充実を図るとともに、地域に開かれたよりよい学校づくりを検証していきたい。                                                                                             | 15 | 1     | 10   | 1  | 1   | 2     |
| 麻生区 | 金 程小学校 | 小松 良輔 | 398名<br>(16級)            | H28.2.26   | 「地域に開かれた学校」から「地域と共に子どもたちを育む学校」へと歩みを進め、学校と家庭、地域が連携・協働し、確かな信頼関係のもとに子どもたちを育む、その中心に学校運営協議会が位置づいている。今後も、地域の学校運営への参画・支援を得ながら、地域に根差した教育活動を推進していきたい。                                                                            | 15 | 3     | 8    | 1  | 3   | 0     |

平成 28 年 2 月 26 日

川崎市教育委員会様

川崎市立川中島小学校は、学校運営協議会の設置を申請いたします。

平成 28 年 2 月 26 日

川崎市立 川中島小  
校長 松下 友子



平成28年2月26日

川崎市立川中島小学校

校長 松下 友子

### 学校運営協議会設置申請理由書

平成18年12月1日から「学校と地域が手を携えて創り出す教育活動」をメインテーマに掲げ、「コミュニティ・スクールのあり方・7つのコミュニティ部会の充実、児童・教職員・保護者・地域が元気の出る取り組み」を目指してきました。

来年度で11年目を迎えるコミュニティですが、7つの部会を4つに再編成し、取り組みの改善点や努力点を明確にして、新しい学校のあり方を地域と共に推進しているところです。

〈学び創造コミュニティ〉では、心豊かな教育活動を展開し、子どもたちの活躍やよりよい育ちを促していくことをねらいとしています。「地域と共に歩む教育課程の創造」をテーマに、多くのゲストティーチャーを迎え、全教育課程を見通した川中島プランの創造に取り組んでいます。

〈子ども・健康安全・環境コミュニティ〉では、子どもたちの学校や地域での安全安心や食育の推進、体力の向上、学校環境の改善等をねらいとしています。子どもたちのより安全で安心な学校生活を実現していくために、防災教育、交通安全教育にも力を入れています。

〈情報発信コミュニティ〉では、コミュニティ・スクールの活動をより多くの地域の方に知っていただき、理解・協力から一歩進んで協働・共汗の場を創り出していくことをねらいとしています。そのために、コミュニティ掲示板の有効活用、ホームページでの情報発信に努めています。

〈学校評価コミュニティ〉では、「元気の出る学校評価」を合い言葉に子どもも教職員も保護者も地域の方も、元気の出る学校評価をめざしています。学校行事や期末ごとにとる学校評価は、生の声として大切にして、保護者の方や地域の方が学校教育活動への理解をより深く得られるように、公開・発信しています。

〈ファンドコミュニティ〉では、各コミュニティの事業計画の推進を図るための活動および運用資金を捻出するための活動を推進しています。運動会での飲み物の販売やハッピーフェスタでの焼きそばの販売などを行っています。売り上げは、ファンド基金として、教育活動に役立てています。

〈子どもコミュニティ〉では、4年生から6年生までの子どもコミュニティ委員と大人コミュニティ委員とが会議を開きます。子どもたちは、自分たちの要望や意見を言える場として、発想豊かな考えを提案しています。子どもコミュニティ会議と運営委員会が連携し、「学校生活をよりよくする

ために」ということで、あいさつ運動に取り組んでいます。「ニコおは隊」を結成し、あいさつ運動に取り組んでいます。

以上のような「新しい学校のあり方を地域と共に推進する」という理念のもと、各コミュニティ部会の取り組みを通して、学校・家庭・地域社会の創意が生かされ、共に歩む実感と喜びの持てる教育活動を一步ずつ着実に進めているところです。今後とも、「参画・協働・共汗・共創」を合言葉に「地域が学校を支えて、学校が地域に貢献する川中島コミュニティ」をめざして取り組みを進めていく所存です。2年後には、創立80周年を迎えます。周年行事に向けた諸準備や本校の学校運営、教育活動にとって、コミュニティ・スクールとの連携や協力は、必要不可欠なものです。

以上の理由から、引き続き学校運営協議会の設置を申請いたします。



平成28年2月 1 日

川崎市教育委員会様

川崎市立東小田小学校は、学校運営協議会の設置を申請いたします。

平成28年2月 1 日

川崎市立東小田小学校  
校長 吉田 勲



平成28年 2月 1日

川崎市立 東小田 小学校

校長 吉田 勲

## 学校運営協議会設置申請理由書

### ☆学校運営協議会でめざすこと

家庭や児童の考え・行動様式が多様化し、学校だけでは児童により効果的で興味・関心をもってもらえる指導・育成ができなくなっている。

そこで、保護者・地域が学校とより信頼関係を密にして意見や情報を交換したり、学習や授業支援、ボランティア活動・安全・安心への協力等を行ったりすることで、児童の心の成長や学力の向上、豊かな生活力等を高めることができると思う。

コミュニティ・スクールの研究を始めたところは、学校や学力向上に対する関心はそれほど高いとはいえなかったが、研究をこつこつと続けることで、学校への関心が少しずつ高まり、学習支援・行事協力・地域交流・地域との対話等に意欲的に参加してもらえるようになってきた。

前述のような様子から、保護者・地域・学校の信頼関係は益々高まっていくことが予想できる。そこで、研究を継続してさらに連携を深めていく。

また設置より10年が経過し、ますます保護者・地域・学校の結びつきが強くなってきており、学校運営協議会の良さをパイロット校として他校にも広めていきたいと考えている。

- ・「子どもが主役」を第一に、効果的で前向きな学校運営協議会を運営する。
- ・ゲストティーチャータイプの地域学習ボランティアを中心に、地域を取り込んだ教育課程の編成をする。
- ・学習・安全安心・環境・連携・学校評価の5つの活動コミュニティを有効に機能させ、児童が楽しく意欲的に学習したり、遊んだりできるような教育環境づくりを構築する。そして、さらに基礎・基本を大切にしたい・できる学習を保証する教育課程を作成していきたいと考えている。

以上のことから、東小田小学校学校運営協議会の設置を申請します。

平成28年2月26日

川崎市教育委員会様

川崎市立南河原小学校は、学校運営協議会の設置を申請いたします。

平成28年2月26日

川崎市立南河原小学校  
校長 青木 由秋





平成28年2月26日

川崎市立南河原小学校

校長 青木 由秋

## 学校運営協議会設置申請理由書

平成18年12月に設置した川崎市立南河原小学校学校運営協議会は地域・学校・保護者等、コミュニティ・スクールに関わる多くの人たちが手探りの状態から出発し、組織づくりから実践的な活動へと少しずつ、しかし着実に歩を進めてきました。組織としては5部会を立ち上げ少しずつ改善を加えながら継続しています。当初はコミュニティ・スクールの活動は学校がリードする形で進めてきました。しかし、現在においては学校運営協議会の各コミュニティが活動の中心になってきました。

「学び支援コミュニティ」では、教科・領域等の日常の学習活動における地域人材の「協力」に始まり「参加」から「参画」型への授業づくりの実践を進めています。

「幸発見コミュニティ」では、地域の『ステキ発見』のために、さんま祭りでお世話になっている「南部市場市場見学」を計画し「花の競り見学」「大型冷蔵庫入室体験」をしました。

「食育コミュニティ」では、今年度も地域の南部市場水産部の方と計画段階から進め、「さんま祭り」を実施し大きな成果をあげることができました。

今後も引き続き、「学び支援コミュニティ」「幸発見コミュニティ」「食育コミュニティ」の活動を広め深めていききたいと思います。

また、「防犯安全・情報のコミュニティ」「学校評価コミュニティ」の部会においても地域とともに特色ある活動が展開できるような体制を整えていきたいと考えています。

このような活動を行う中で、地域の方々のネットワークの広がりとフットワークのよさに感心させられましたし、改めて南河原小学校区のすばらしい地域性と学校に寄せる大きな期待を感じました。このように地域と一体となって推進されていく取り組みは、本校教育の充実・発展につながるだけでなく、やがては地域の担い手として育つ子どもたちにより、地域・南河原がさらに優しく、活力のある町へと発展していく礎になることと思います。

親子3世代が本校の卒業生という家庭も増え、地域とともに創る学校の推進には最適な環境になってきました。

つきましては、引き続き今後の学校運営協議会を設置していただきますよう申請いたします。ご配慮の程、よろしくお願い申し上げます。



様式 1（学校運営協議会設置申請書）

平成 28 年 2 月 19 日

川崎市教育委員会様

川崎市立上丸子小学校は、学校運営協議会の設置を申請いたします。

平成 28 年 2 月 19 日

川崎市立上丸子小学校  
校長 岩間 章 印



平成28年2月22日  
川崎市立 上丸子小学校  
校長 岩間 章

### 学校運営協議会設置申請理由書

本校は、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール推進事業を進めることによって、地域の力を活用し、学校・保護者・地域が一体となった教育活動を行っていく。具体的な取り組みとしては、平成28年度は、昨年度までと同様、今までの活動をもとに5つのST（サポートチーム）による活動を行う。

#### ①学習支援 ST

日常の授業支援として、算数・図書・書写・家庭科・体育（水泳）・英語・総合的な学習に入っている。その他総合的な学習の時間では、多摩川学習・命のあゆみ学習に参加していただき子どもたちと一緒に活動している。

#### ②子ども安全安心 ST

保護者、町会や地域の方・スクールガードリーダーと連携し、8・3見守り運動（登下校時の見守り）を行う。また、民生委員の方と一緒にあいさつ運動を行う。

#### ③クリーン&グリーン ST

学校内外の環境整備・美化活動・栽培活動を行う。月に木曜土曜各1回活動。休み時間にはエコグリーン委員会の児童と一緒に活動する。

#### ④エコ&ベルマーク ST

ペットボトルキャップの回収を行い、エコグリーン委員会の児童と回収業者のところへ届ける。ペットボトルキャップは開発途上国の子どものワクチン代になる。PTA 学年委員会と連携し、ベルマークの回収と仕分け作業を行う。

#### ⑤地域連携 ST

地域住民に広く学校に足を伸ばしていただけるよう、PTA・学校施設開放委員会と連携し、キラキラバザーを行う。

以上、5つのSTによる活動を中心として、コミュニティ・スクール推進事業を行うため、学校運営協議会設置を申請いたします。

平成 28 年 2 月 24 日

川崎市教育委員会様

川崎市立東橘中学校は、学校運営協議会の設置を申請いたします。

平成 28 年 2 月 24 日

川崎市立東橘中学校

校長 山田 英児





平成28年2月24日  
川崎市立東橘中学校  
校長 山田 英児

## 学校運営協議会設置申請理由書

本校は、数年前まで、多くの生徒指導上の課題を抱えていました。そこに、おやじの会や地域教育会議、PTA、PTAOB会、保護司の皆様からの積極的なご支援とご協力をいただき、現在は、落ち着いた雰囲気の中、学習に集中し、部活動でも運動部、文化部とも、多くの部が市や県はもちろんのこと、関東・全国レベルの大会やコンクールに出場し、上位入賞という素晴らしい結果を残すようになりました。

こうした地域、保護者の方々の具体的な支援として、学校運営協議会主催の「ふれあい音楽会」、おやじの会による毎月第2土曜日の「夜間パトロール」、地域教育会議主催の「スポーツ文化交流会（部活動体験入部）」や「清掃ボランティアと終了後の豚汁会食」、その他、地域の方やPTA、PTAOB会、保護司会など地域・保護者の方々を巻き込んで行われる「地域PTAふれあいバザー」、いくつかの町内会や自治体が集まって行われる「さんま祭り」、さらには、PTAによる「あいさつ運動」や「クリーン活動」等があります。それらの活動には、生徒たちもいろいろな形で関わらせていただいています。そうした活動を継続して行う中で、地域の方が気軽に生徒とのコミュニケーションをとってくださり、生徒の顔を覚えてくださっています。また、生徒も常に地域の方に見守られているという意識が働き、知っている方には、外であってもあいさつをするなど、地域の中の中学生という意識が持てるようになってきました。

地域の方々からは、今まで様々な視点から学校へのご意見をいただき、学校の取組だけではどうにもならない部分をご理解いただくとともに、学校への温かいご支援とご協力をいただくことで、少しずつですが着実に成果を残してきました。昨年夏に小学校との合築校舎が完成し、現在、私たち中学校職員と中学生は、小学校職員と小学生とともに一つの建物の中で生活しています。今のところ大きな問題はありませんが、これからも地域の方々からのご意見を参考に、さらに、子どもたちが輝く教育現場を作っていきたいと考えております。そのためには、今まで実施してきたコミュニティ・スクールを今後も実施することで、地域の願いを学校運営に反映させ、地域の教育力をより活用していくことが大事になると考えております。

つきましては、今後も学校運営協議会を設置しての体制づくりを図り、教育目標の具現化に努力してまいりますので、学校運営協議会の設置を申請いたします。

様式 1 (学校運営協議会設置申請書)

平成28年2月26日

川崎市教育委員会様

川崎市立土橋小学校は、学校運営協議会の設置を申請いたします。

平成28年2月26日

川崎市立 土橋小 学校  
校長 鈴木 信一郎



平成28年 2月 26日

川崎市立土橋小学校

校長 鈴木 信一郎

### 学校運営協議会設置申請理由書

本校では、平成18年度の開校以来、コミュニティ・スクールとして地域、保護者学校の協働により学校運営をおこなってきた。引き続き学校運営協議会を設け、保護者及び地域住民等の学校運営への参画と協働による学校づくりを進めることにより、児童、保護者、地域住民及び学校教職員が相互に信頼関係を深めるとともに、家庭、地域及び学校がその教育力を相互に高め、共に児童の豊かな学びと育ちの創造を図ってきたいと考える。



平成 28 年 2 月 15 日

川崎市教育委員会様

川崎市立中野島中学校は、学校運営協議会の設置を  
申請いたします。

平成 28 年 2 月 15 日

川崎市立中野島中学校  
校長 樋口 安成 印



平成 28 年 2 月 15 日

川崎市立中野島中学校  
校長 樋口 安成

### 学校運営協議会設置申請理由書

近年、生徒を取り巻く社会環境は目まぐるしく変化している。生徒ひとりひとりにあったきめ細やかな学習指導、生徒指導のあり方について具体的に検討し、個々の生徒が充実した学校生活を送ることができる学校づくりをさらに推進する必要がある。

現在、学校運営協議会、地域教育会議等でこれらについて建設的な意見が提言され、その提言が具現化されている。学習支援では、教育活動サポーターや学生ボランティア等が導入され、個に応じた支援を行っている。また、図書ボランティアによる読み聞かせや蔵書整理等、読書活動の推進も行われている。

今後も学校運営協議会を母体として、これらの取り組みの充実を図るとともに、地域に開かれたよりよい学校づくりを以下の視点で検証していきたい。

- ・ 学校運営協議会、地域教育会議の意見提言をもとにした学校運営
- ・ 地域の教育力を生かした学校支援の充実
- ・ 小中連携教育の推進
- ・ 地域大学との連携による学習支援の拡充
- ・ 家庭、地域、学校の連携による安全安心な地域づくり
- ・ 安全安心な学校給食の提供と食育の推進

平成 28 年 2 月 26 日

川崎市教育委員会様

川崎市立金程小学校は、学校運営協議会の設置を申請いたします。

平成 28 年 2 月 26 日

川崎市立金程小学校  
校長 小松 良輔





平成28年2月26日

川崎市立金程小学校

校長 小松 良輔

## 学校運営協議会設置申請理由書

### <ねらい>

「地域と共に子どもたちを育む学校」をめざすために

#### 1. 地域総がかりで子どもの成長を支え応援する学校運営協議会

○学校の教育目標やビジョンを地域住民と保護者、教職員が共有して、地域と一体となって地域の未来を担う子どもたちの成長をめざす。

#### 2. 学校を核とした地域の絆・活性化を推進していく学校運営協議会

○学校を「地域コミュニティの中心」と考え、地域と家庭、学校が連携・協働してそれぞれの教育力を活かしながら、持続可能な学校教育活動と地域づくりを推進していく。

### <申請理由>

本校は、創立の理念に“開かれた学校”を掲げ、平成20年12月より学校運営協議会に指定されてからは、家庭だけではなく地域にも“開かれた学校”となるように教育活動を展開してきました。

平成25年度からは「第2期教育振興計画」の動きを念頭に置き、地域の願いと学校教育目標の調和、コミュニティ・スクールのめざす方向性等を関連づけてきました。そして、昨年度は学校運営協議会の中心テーマとして、「第2次かわさき教育プラン」の実施開始と次期指導要領改訂に向けた中央教育審議会の「教育課程企画特別部会 論点整理」に表れたこれからの教育の方向性を踏まえ、本校のこれまでの教育目標、学校経営方針、金程小コミュニティ・スクールの理念、教育課程(カリキュラム)全体、つきたい資質・能力等の構造化を検討してきました。また学習支援活動にも力を入れ、保護者や地域住民が本校の教育活動に参加・参観できるように、学習内容や広報活動、参観後の意見交流の充実を図ってきました。

上記のねらいにも挙げたように、これまでの“地域に開かれた”金程小学校を、さらに“地域と共に子どもたちを育む”金程小学校へと歩みを進め、学校と家庭、地域が連携・協働し、確かな信頼関係のもとに子どもたちを育む、その中心に、本校の学校運営協議会が位置づいています。これからも「地域が学校運営に参画・支援する」「地域に根差した教育活動を推進する」学校をめざします。

以上の理由により、本校に学校運営協議会を設置したく申請します。